

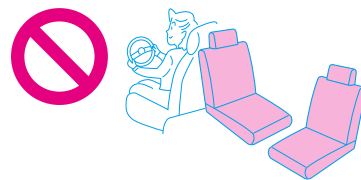
ユーロターンを正しくお使いいただくために、お車の座席を必ずご確認ください。

ユーロターンは3点シートベルトのみ取り付けできます。

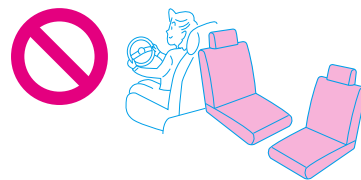
① 取り付け一覧表に記載の無いお車は以下の方法でご確認ください。

以下の条件に一つでも当てはまる座席にはお取付けできません。

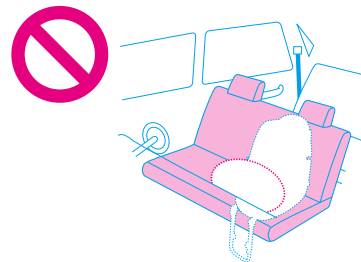
① 革仕様の座席



② 車の進行方向に対して後ろ向き、及び横向きでの座席



③ フロントエアバッグが装備された座席



④ 極端なバケットシートの座席

例) 臀部が大きく落ち込むため、バックル位置が座面よりも15cm以上高くなる座席。

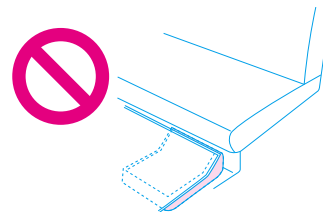


例) 座面のフラット面の幅が38cm未満の狭い座席。

例) 標準装備から取り替えた座席。

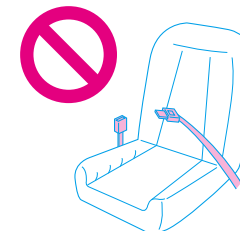
⑤ レッグサポートが接触する車の床面が以下のような仕様の座席

例) ヒューズボックス、収納型の座席、コンソールボックス、工具ボックス、収納ボックスなど。

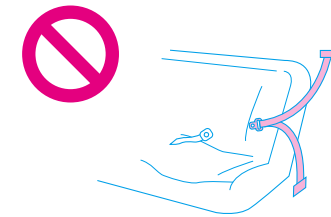


⑥ 以下のようなシートベルトの座席

2点式シートベルト、上下共に巻取り式シートベルト、スポーツタイプのシートベルト、パッシブシートベルト(ドアを閉めると自動的にベルトが装着されるタイプ)



2点式



上下共に巻取り



スポーツタイプ



パッシブシートベルト

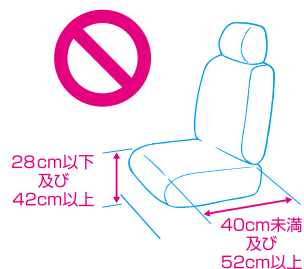
⑦ 緊急時の妨げになる座席

例) 片側ドアのドア側の席など

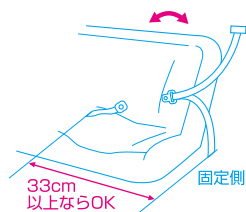
② ①の条件がどれにもあてはまらない場合には、更に以下の事をご確認ください。

①奥行きが、40cm以上52cm未満であること

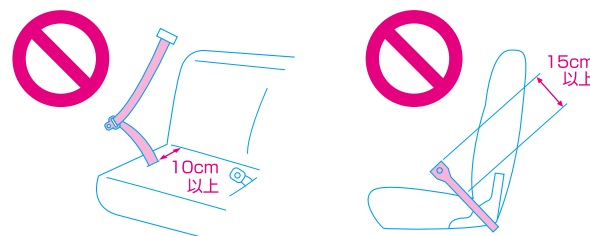
②床から座面の高さが28cmを越え、42cm以下であること



③車のシートベルトの取り付け幅が33cm以上あること

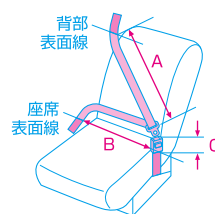


④バックルの出る位置が背もたれから10cm未満から出ている、かつバックルの長さが15cm未満であること



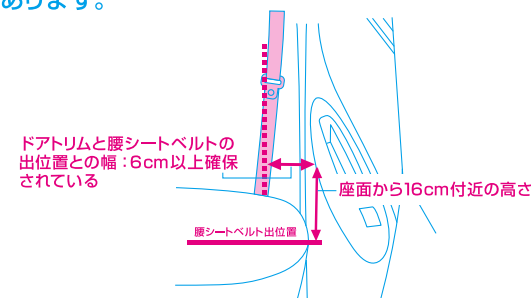
⑤シートベルト長さ(A+B+C)が235cm以上であること

1. スライドができる座席は一番後ろに引いた状態で測定を行ってください。
2. 測定方法はあくまでも目安です。ベルトの引出し口の位置や座席の形状によって235cm以下でも取付けられる場合がありますので購入前に実際に取付け確認を行ってください。
3. 平成9年前半以前の年式の車はベルトの長さが最近の車に比べかなり短い仕様になっています。そのため取付けられない車種が多いので必ず取付け確認を行ってください。



⑥座面から16cm（座面に多少の凹がみられるバケットシートの場合は12cm）付近の高さで、ドアトリムと腰シートベルトの出位置との幅が6cm以上であること

→⑥を満たさない場合でも座面がフラットで、かつ取付け幅34cm以上であれば、内側へ寄せて取付けられる場合があります。



本チェックはあくまでも目安ですので購入前に実際に取付け確認を行ってください。

【注意事項】

- サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意
 - ・車の取扱説明書に従って取り付けてください。
 - ・車の取扱説明書に記載が無い場合は自動車メーカーのお客様相談室にお問い合わせください。
- 取付けたチャイルドシートが車の運転に支障を及ぼす場合は御使用できません。
 - 例) ・前座席中央席(前列ベンチ座席仕様車)
 - ・シフトレバーパーキングブレーキなど操作に支障をきたす場合
 - ・バックミラー、ルームミラーの妨げになる場合